

2017年度シラバス

学科名	科目名	単位	学年	担当教員名
日本語・日本文化学科	日本文化研究	2	1年	-
授業の概要・到達目標				
<p>日中の文化交流は古くから行われている。 その内容は言葉、衣服、宗教、美術など多様である。 その中で、あるいは健康維持の手段として、あるいは身を守る方法として、武道も伝わってきた。</p> <p>日本刀の元祖と言われる唐太刀（正倉院蔵）は今日までその姿を残し、中国に渡りその武芸を納めた愛洲移香斎が伝え陰流からは徳川将軍家の指南役になった新陰流の柳生家が生まれ、中国から沖縄に伝わり本州で発展した空手道は日本にとってなくてはならないものである。</p> <p>これからわかるように、武道も日中を結ぶ文化の要なのだ。 この授業では、古代中国の仙道が伝え、皇族も学び、日本で150万の愛好者があるという太極拳や中国禅宗開祖・菩提達磨が残して易筋経、徳川の治世を支えた新陰流の原理などを知り、アジアと日本の文化の関わりを知ることを目的とする。</p>				
授業内容				
1～4	無と有。天下を治する武と道。「太極八卦と養生（1）」			
5～8	無と有。天下を治する武と道。「太極八卦と養生（2）」			
9～12	無と有。天下を治する武と道。「太極八卦と養生（3）」			
13～16	無と有。天下を治する武と道。「太極八卦と養生（4）」			
17～20	無と有。天下を治する武と道。「太極八卦と養生（5）」			
21～24	無と有。天下を治する武と道。「太極八卦と養生（6）」			
25～28	無と有。天下を治する武と道。「太極八卦と養生（7）」			
29～32	無と有。天下を治する武と道。「太極八卦と養生（8）」			
履修上の注意点				
<p>先賢の教えを受け継ぎ、己を知り、彼を知り、やがて大道を悟る基礎とす。彼我への思いやりを大切にし、慈しみと義を常に心がけて履修せよ。履修後に心身の鍛錬を怠らず、匹夫なれど、国家を支える棟梁たらんとする志を持つことを望む。</p>				
教科書				
プリント				
成績評価				
出席点：80、実技試験：20				
その他				
<p>参考書： 『道徳経（老子）』、『南華真経（荘子）』、『黄帝陰符経』、『黄帝内経』、『太極拳論』、『推拿功法』（上海中医薬大学など編）、『太極八卦之源与健身養生』（裴錫榮、鄭志鴻など著）、『戴氏心意拳技撃精要』（王映海監修、王喜也・袁天輝著、森本濠訳）、『不動智神妙録』（沢庵和尚など）</p>				